

## ◆ 墨田都税事務所長賞 ◆

「将来への募金」

墨田区立桜堤中学校 第三学年 阿部 結月

コロナウイルス。

世界中に大きな衝撃をもたらした。

オリンピックの開催延期、緊急事態宣言、全国一斉臨時休業…。

訳も分からず、とにかくマスク着用、外出自粛をするしかなかった。しかし、感染者は増えるばかりだ。友達にも会えないし、家で何もすることもなく、本当につらく退屈だった。そんな「歴史的緊急事態」から三、四年が経とうとしている。

私はコロナに一度感染した。検査キットが配られ、感染した時は食品が家に届いた。自分が好きな物ばかりでずっと食べていた。

学校では今でも、直接触れずに体温が測れる“非接触型体温計”が設置されており、毎朝測る仕組みになっている。また、消毒液も置かれている。

私は、この税金の作文を書くまで、あまり税金の事は知らず、何に使われているのかも正直全く知ろうとしていなかった。

ただ、買い物をした時、元の値段より高くなるデメリットしかないイメージはあった。

税金に対してそのくらいのイメージしかなかったため、まずは税金は何に使われているのか調べてみると、教材費、公共施設など、とても身近なものに使われていた。どれも興味深かったが、一番目を奪われたのはコロナに使われていたことだった。

どんどん調べていくと、コロナの入院費や給付金、それ以外にも非接触型の体温計の設置、検査キットの配布など、私が実際に体感しているものだった。コロナになった時や、設置された時はどういう仕組みで配られるのか？など気にもしていなかった事だが、税金のお陰で私たちの元に届いているんだなと思うと、税金は納めるべきだと思う。

もし仮に、税金を納める制度がなくなるとしたら、私たちは今まで通り普通に過ごせていけるだろうか？買い物をした時、元の値段から高くなることはない。それはとても嬉しいが、税金について調べてみて、税金がなくなったらコロナ感染対策はもちろん、教材費や公共施設など無料だったものが有料になってしまう。そして、コロナで考えると、入院費も有料になってしまい、救えた命も救えなくなる場合も少なくはないのではないかな。感染対策の為に消毒や体温計も税金がなかったら設置されず、クラスターなども沢山起きていたはずだと思う。

作文の題材決めで調べてから、こんなにも自分の考えが出てくると思わなかったが、それだけ身近に使われて大事なものだと感じる事ができた。

買い物をして税金を払う時、「高いから払いたくないな」と思うのではなく、「将来の誰かのため、自分のため」と将来の募金だと思って払っていけば、これからも楽しく過ごせていけるのではないだろうか。